

令和 7 年度寄附等希望アンケート結果報告

＜概要＞

- 1 目的

東京善意銀行への寄附（現金、物品、招待）の配分実施にあたり、福祉施設の要望等を把握するための基礎資料として活用する。実際の配分にあたっては個別の施設の希望をふまえ、案内メールを送信している（本アンケートは毎年実施している）。
- 2 対象

東京善意銀行に登録している 1,971 施設
- 3 調査期間

令和 7 年 6 月 26 日～令和 7 年 10 月 10 日
- 4 調査方法

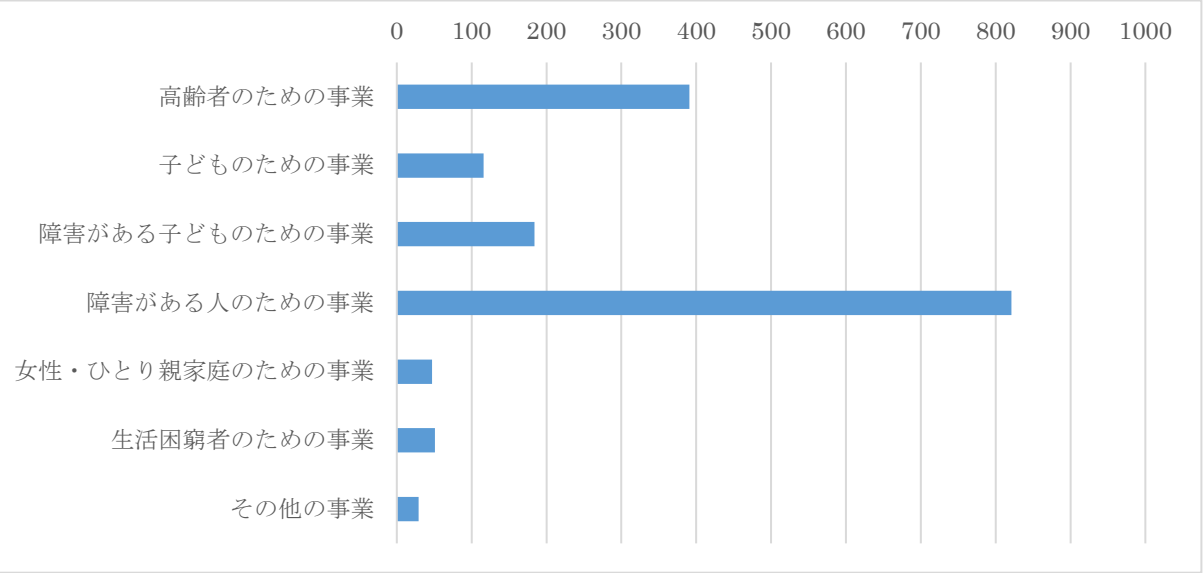
オンラインシステムを利用したアンケート回答フォームを各施設にメールで送信し、あわせて回答依頼の文書を郵送した。
- 5 回答率（回答数）

71.8%（1,416 施設）

＜結果＞

1 登録施設の事業分野・内容について

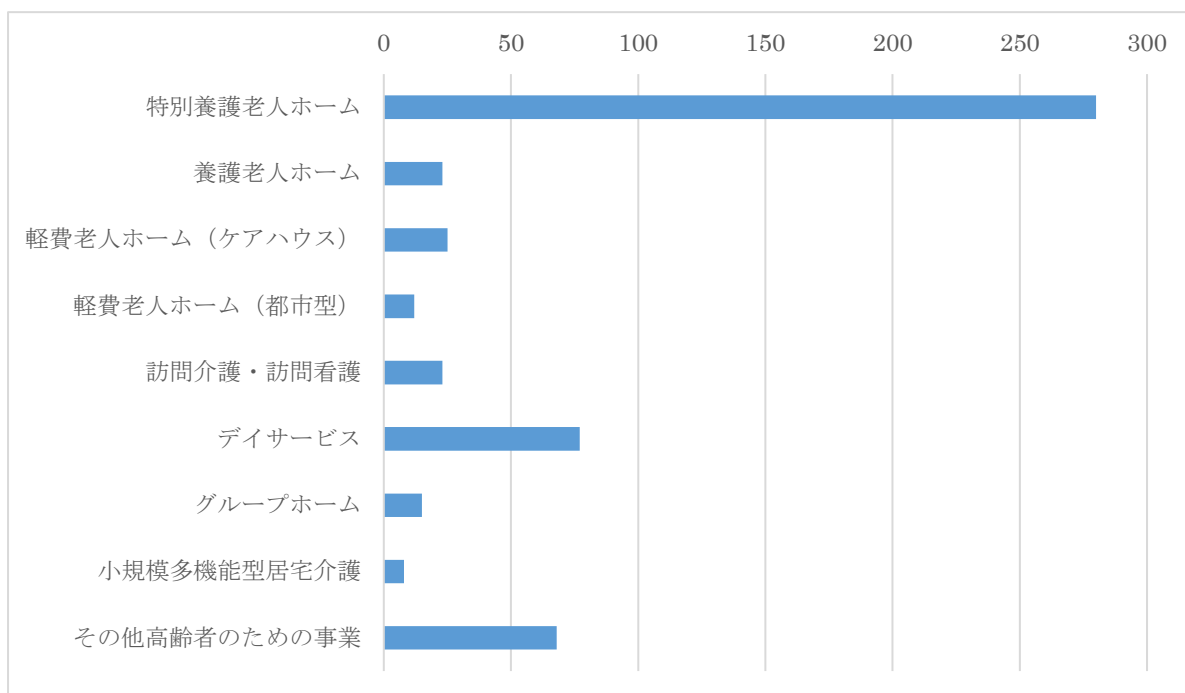
（1）登録施設の事業分野（複数回答）



障害がある人（障害者）のための事業が最も多く、全体の 6 割弱となっている。
障害がある子ども（障害児）と障害者、生活困窮者と高齢者など、事業の対象分野を複数回答した施設もある。

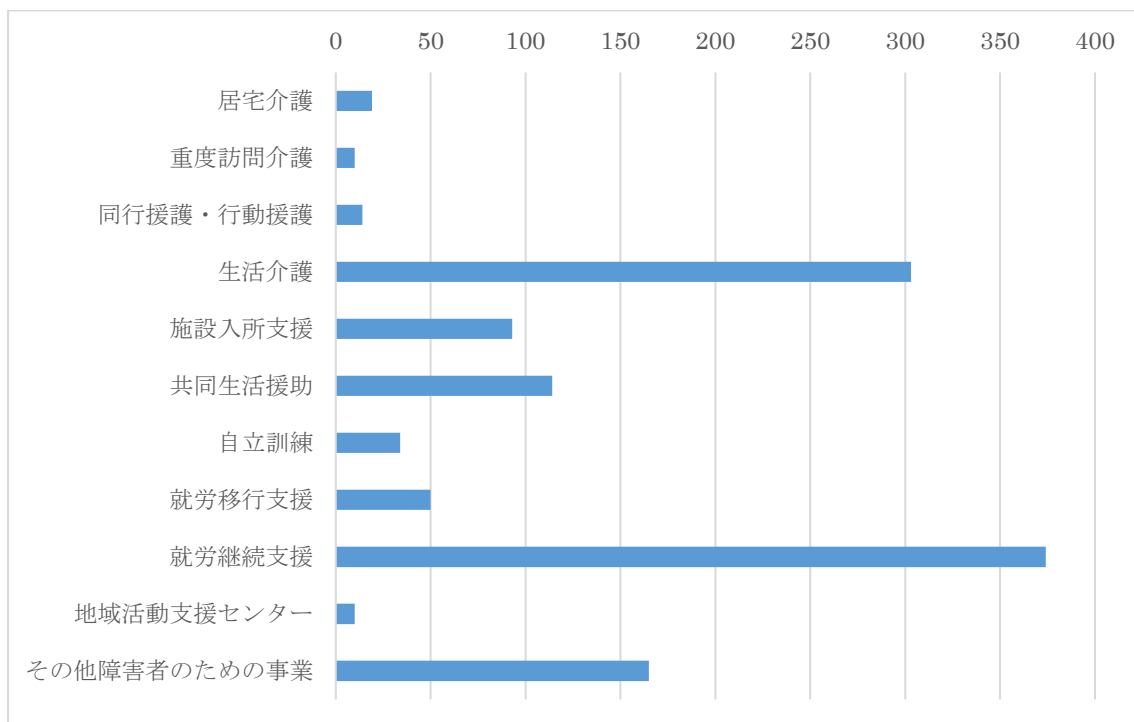
(2) 各事業の内容（複数回答）

① 高齢者のための事業（391 施設）



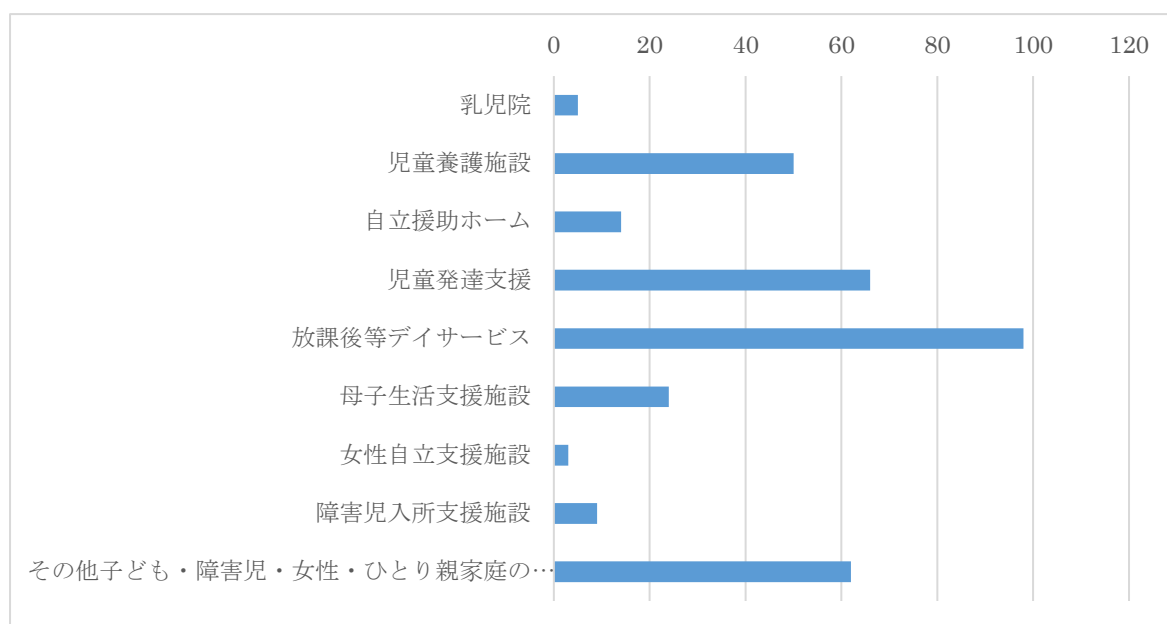
（その他の主な内容）居宅介護支援、ショートステイ

② 障害がある人のための事業（821 施設）



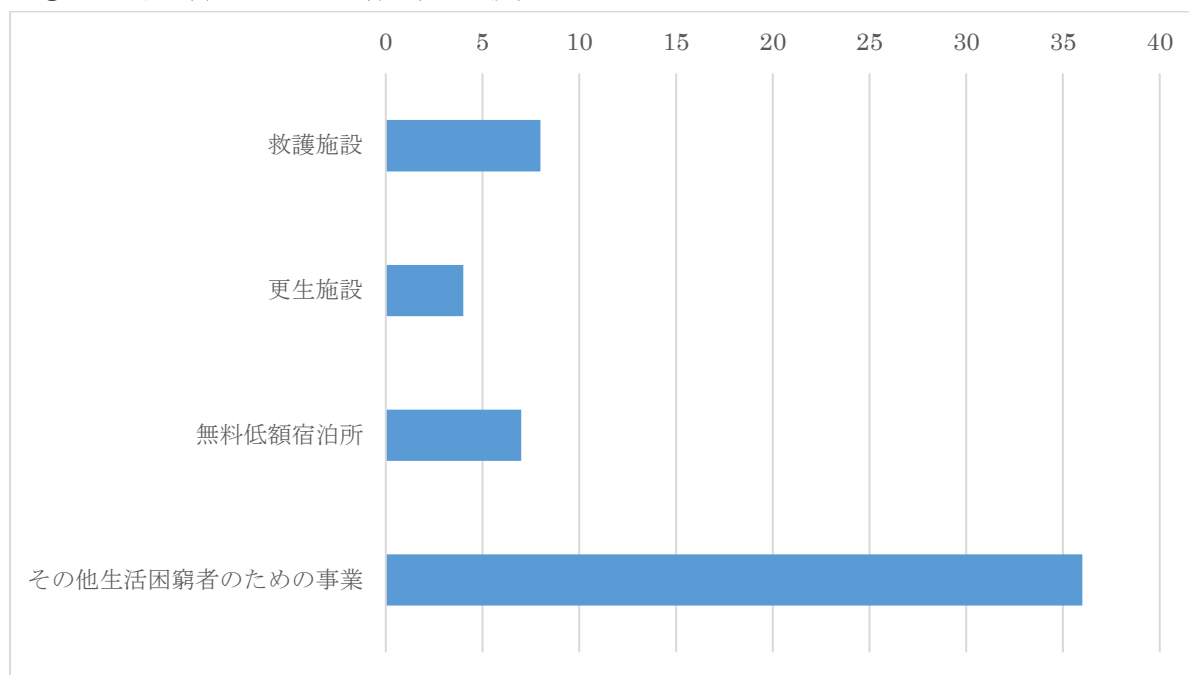
（その他の主な内容）就労定着支援、特定相談支援事業

③ 子ども・障害児・女性・ひとり親家庭のための事業（347 施設）



（その他の主な内容）療育相談事業、子育て支援事業、親子遊び広場事業、社会的養護経験者のアフターケア事業等

④ 生活困窮者のための事業（51 施設）



（その他の主な内容）宿所提供施設、住居提供等の保護事業

2 寄附の希望内容について

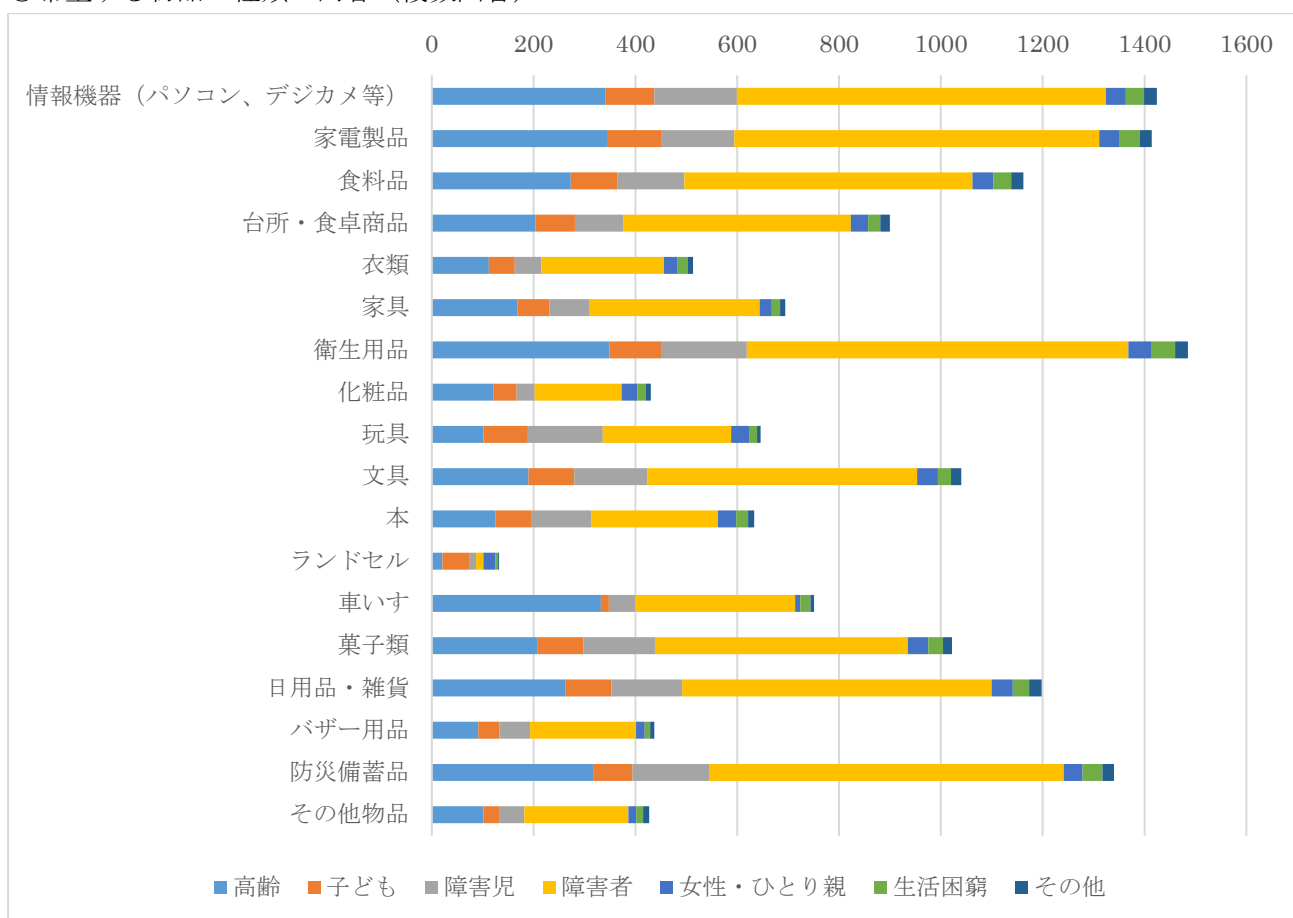
(1) 現金助成（物品購入費：1施設 15 万円以内）

希望する	1,223
希望しない	193

(2) 物品寄附の配分

希望する	1,408
希望しない	8

○希望する物品の種類・内容（複数回答）



全体で最も希望が多い種類・内容は、「衛生用品」だった。

施設分野別で希望が多い順に並べると、下記の通りだった（※情報機器とはパソコン等）。

高齢者：①衛生用品、②車椅子・家電製品、③情報機器

子ども：①家電製品、②衛生用品、③情報機器、④食料品

障害児：①衛生用品、②情報機器、③防災備蓄品

障害者：①衛生用品、②情報機器、③家電製品

女性・ひとり親：①衛生用品、②食料品、文具、日用品・雑貨

生活困窮者：①衛生用品、②家電製品、防災備蓄品

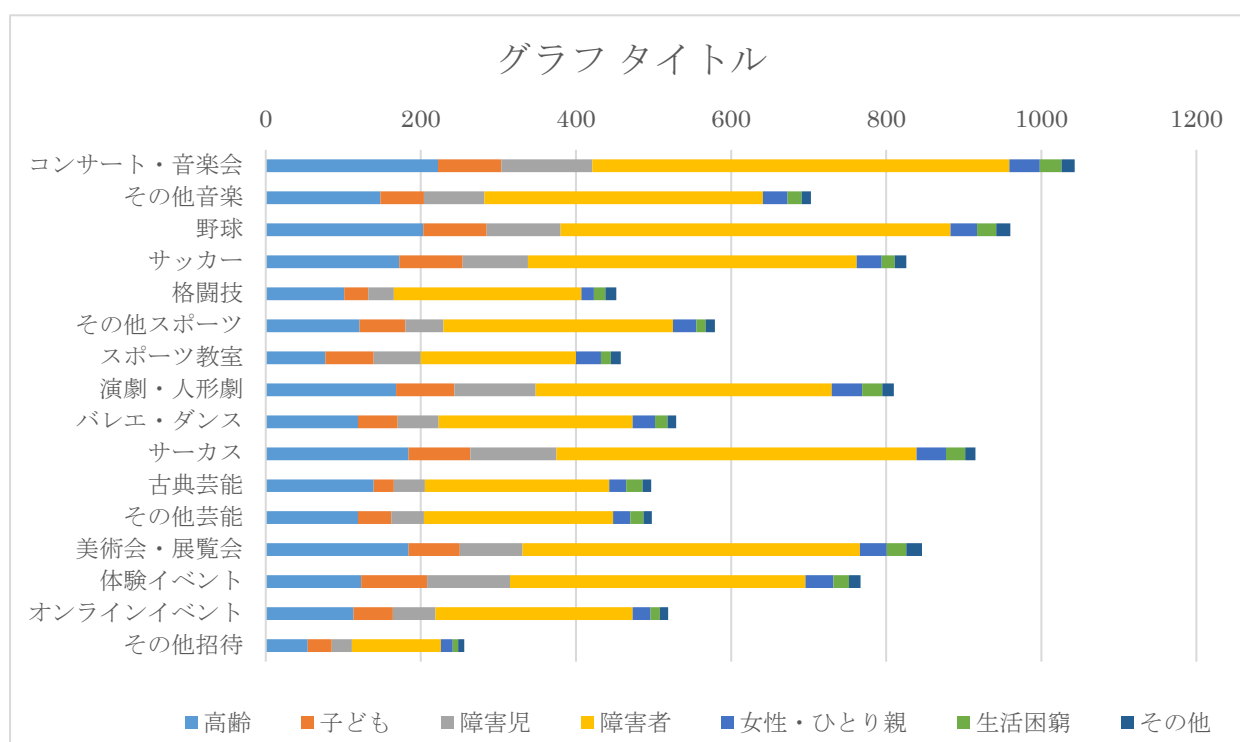
(3) 自動車寄附の配分

希望する	821
希望しない	595

(4) 招待寄附の配分

希望する	1116
希望しない	300

○希望する招待の種類・内容（複数回答）



全体で最も希望が多い種類・内容は、「コンサート・音楽会」だった。

施設分野別で希望が多い順に並べると、下記の通りだった。

高齢者：①コンサート・音楽会、②美術会・展覧会、③サーカス

子ども：①体験イベント、②野球、③サッカー

障害児：①コンサート・音楽会、②サーカス、③体験イベント

障害者：①コンサート・音楽会、②野球、③サーカス

女性・ひとり親：①コンサート・音楽会、②演劇・人形劇、③サーカス

生活困窮者：①コンサート・音楽会、①演劇・人形劇、③野球、③サーカス、③展覧会